

## 旭川総合水系環境整備事業

## 河川事業の再評価項目調書

事業名（箇所名）	あさひがわ 旭川総合水系環境整備事業		
実施箇所	旭川直轄管理区間内		
当該基準	社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要性が生じた事業（事業費の追加、事業期間の延伸）		
事業諸元	<p>【水辺整備】</p> <p>①-1 古京（下流）箇所水辺整備 H25～H29（整備済） （国）堤防、護岸、階段、坂路、（市）遊歩道</p> <p>①-2 岡山城箇所水辺整備 H29～R6（予定） 河川管理用通路、親水護岸</p> <p>② 牧石箇所水辺整備 [計画中] 護岸、高水敷整正、河川管理用通路、階段</p>		
事業期間	平成25年度～令和8年		
総事業費（億円）	9.3 億円（うち国整備 9.2 億円、地方自治整備 0.8 億円）	残事業費（億円）	4.7 億円（うち国整備 4.7 億円、地方自治体整備 0円）
目的・必要性	<p>旭川は、岡山県の中央部に位置し、その源を中国山地の朝鍋鷲ヶ山に発し、瀬戸内海に注ぐ、幹川流路延長 142km、流域面積 1,810km<sup>2</sup> の一級河川である。旭川下流部には、江戸時代から栄えてきた政令指定都市の岡山市が位置し、地域の社会・経済・文化の基盤を成している。また、岡山市には日本三名園の一つである岡山後楽園があるなど、岡山県の観光拠点として賑わっている。</p> <p>旭川、百間川の河川敷には、数多くのスポーツ施設や公園が整備されており、多くの市民にスポーツや散策に利用されている。</p> <p>【水辺整備】</p> <p>《古京（下流）箇所水辺整備》 事業箇所周辺は、「旭川さくらみち」の愛称で地域住民に親しまれているが、現状の堤防構造では、老朽化した桜の植え替えができない状態であった。また、整備された坂路が少なく、歩きにくい箇所があるため、水辺周辺を回遊しにくかった。そのため、水辺に近づきやすくなる坂路の整備のほか、岡山市と連携した遊歩道等の整備を行った。また、桜の植え替え・保全が可能となり、「旭川さくらみち」の景観を将来に渡って保全することができる護岸の整備をおこなった。</p> <p>《岡山城箇所水辺整備》 事業箇所周辺は、水辺に近づける親水護岸がなく、通路がない所や遊歩道があるが凸凹があり歩きにくい等、水辺周辺を回遊しにくい状況となっており、地域からの強い改善要望もある。そのため、安全に水辺に近づくことができる親水護岸や水辺の回遊性を向上させるため河川管理用通路の整備を行う。</p> <p>《牧石箇所水辺整備》 事業箇所の周辺の河川敷には、グラウンドがあり、日常からスポーツなどの河川利用が盛んな場所となっているが、雑草や雑木が繁茂し、河川敷に下りる階段や通路もないため安全に水辺を利用することができない状況である。そのため、安全に水辺に近づくことができる河川管理用通路や階段などを整備する。</p>		
便益の主な根拠	<p>【水辺整備】 古京（下流）箇所水辺整備、岡山城箇所水辺整備 CVM 支払意思額＝ 303 円／世帯／月、受益世帯数＝241,310 世帯 観光客 CVM 日帰り 225 円／人／日、宿泊 237 円／人／日 日帰り観光客 506,883 人／年、宿泊観光客 941,355 人／年</p> <p>【水辺整備】 牧石箇所水辺整備 CVM 支払意思額＝ 300 円／世帯／月、受益世帯数＝ 28,535 世帯</p>		

事業全体の投資効率性	基準年度	令和元年度				
		B:総便益 (億円)	C:総費用 (億円)	B/C	B-C (億円)	EIRR (%)
	全体事業	274.7	9.5	28.8	265.2	59
残事業	92.4	3.9	24.0	88.6	51	
感度分析		残事業(B/C)		全体事業(B/C)		
	残事業費(+10%~-10%)	21.9~26.5		27.8~30.0		
	残工期(+10%~-10%)	23.5~24.5		28.7~29.0		
	便 益(+10%~-10%)	26.4~21.6		31.7~25.9		
事業の効果等	<p>【水辺整備】</p> <p>《古京（下流）箇所水辺整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>桜並木の存続や周辺の景観に配慮した護岸や坂路の整備のほか、岡山市と連携した遊歩道等の整備を行うことにより、水辺に近づきやすくなるとともに歩きやすくなった。</li> <li>桜の植え替え・保全が可能となり、「旭川さくらみち」の景観を将来に渡って保全することができる。</li> <li>「岡山さくらカーニバル」等の集客性のあるイベントが継続的に実施でき、岡山市街地の活性化に寄与することになる。</li> </ul> <p>《岡山城箇所水辺整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>親水護岸の整備を行うことにより、安全に水辺に近づくことができるようになるので、カヌー等の水面利用が促進される。</li> <li>河川管理用通路の整備を行うことにより、河川管理機能が向上し、安全に水辺を通行できるようになる。そのため、周辺地域の水辺の回遊性が向上し、観光客や地域住民の利便性が向上する。</li> </ul> <p>《牧石箇所水辺整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>護岸の整備や高水敷整正を行うことにより、河川管理機能の向上、散策等の日常利用の他、安全に水辺の利用ができるようになる。</li> </ul>					
	社会情勢等の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>旭川流域の人口は岡山市では増加傾向、その他の市町では緩やかな減少傾向がみられ、全体として大きな変化はない。</li> <li>整備箇所は散策や花見等の憩いの場、水に親しむ場として多くの住民に利用されており、より安全に水辺が利用できるような整備が望まれている。</li> </ul>				
事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>旭川では、安全に河川利用を行うための水辺整備事業のうち岡山城箇所を実施中、牧石箇所が計画中である。また、古京（下流）箇所については、平成29年度に完了した。</li> </ul>					
事業の進捗の見込み	<p>【水辺整備】</p> <p>《岡山城箇所水辺整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岡山県、岡山市、岡山大学等から構成される「旭川かわまちづくり計画検討・推進会議」で内容を検討・調整する等、事業を進めていく体制も整っており、今後事業進捗する上で支障はない。</li> </ul> <p>《牧石箇所水辺整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関や住民等の意見を取り入れながら、協力体制を確立し事業を実施していく予定であり、今後事業進捗する上で支障はない。</li> </ul>					
コスト縮減や代替案立案の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>水辺整備にあたり、除草作業や清掃について地元と協力体制を確立することや、伐採木の無料配布を実施すること等によりコストの縮減を図る。</li> <li>事業の進捗状況、費用対効果を鑑み、継続実施が妥当であり、現状での代替案を検討する必要はないと考えている。</li> </ul>					
対応方針（原案）	継続					
対応方針理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、<b>事業継続が妥当</b>である。</li> <li>今後の事業実施にあたっては、地域との協力体制を確立するとともに、コスト縮減に引き続き取り組み、効率的かつ効果的な事業の執行に努める。</li> </ul>					
その他	—					

# 旭川総合水系環境整備事業

## 【事業再評価】

国土交通省 中国地方整備局

令和元年11月18日



国土を**整**え、全力で**備**える  
国土交通省  
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Chugoku Regional Development Bureau

1. 今後の対応方針(原案)
2. 再評価の重点化・効率化判定票
3. 旭川流域の概要と河川環境に関する目標及び現状と課題
4. 旭川総合水系環境整備事業(全体)の事業箇所と内容
5. 再評価:①古京(下流)・岡山城箇所水辺整備
6. 再評価:②牧石箇所水辺整備
7. 費用便益分析

# 1. 今後の方針(原案)

## 1. 再評価の視点

### ①事業の必要性等の視点

#### 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 旭川流域の人口は岡山市では増加傾向、その他の市町では緩やかな減少傾向がみられ、全体として大きな変化はない。
- 古京(下流)・岡山城箇所では、河川空間とまち空間の融合を図り、地域活性化を推進するための「旭川かわまちづくり計画検討会議」を平成23年10月に発足し、賑わいの創出を検討し、「旭川かままちづくり計画」を作成して平成31年3月に変更登録した。

#### 2) 事業の投資効果

- 費用便益比 全体事業(B/C)=28.8 残事業(B/C)=24.0

#### 3) 事業の進捗状況

- 旭川では、安全に河川利用を行うための水辺整備事業のうち岡山城箇所を実施中、牧石箇所で計画 중이다。また、古京(下流)箇所については、平成29年度に完了した。

### ②事業の進捗の見込みの視点

- 水辺環境整備に対する地域要望は強く、関係機関や住民等の意見を取り入れながら、協力体制を確立し事業を実施していく予定であり、今後事業進捗する上で支障はない。
- 特に、岡山城箇所水辺整備においては、岡山県、岡山市、岡山大学等から構成される「旭川かわまちづくり計画検討・推進会議」で内容を検討・調整する等、事業を進めていく体制も整っており、今後事業進捗する上で支障はない。

### ③コスト縮減や代替案立案の可能性

- 水辺整備にあたり、除草作業や清掃について地元と協力体制を確立することや、伐採木の無料配布を実施すること等によりコストの縮減を図る。
- 事業の進捗状況、費用対効果を鑑み、継続実施が妥当であり、現状での代替案を検討する必要がないと考えている。

## 2. 県への意見照会結果

- 岡山県知事の意見：対応方針(原案)について妥当である。

### 【今後の対応方針(原案)】

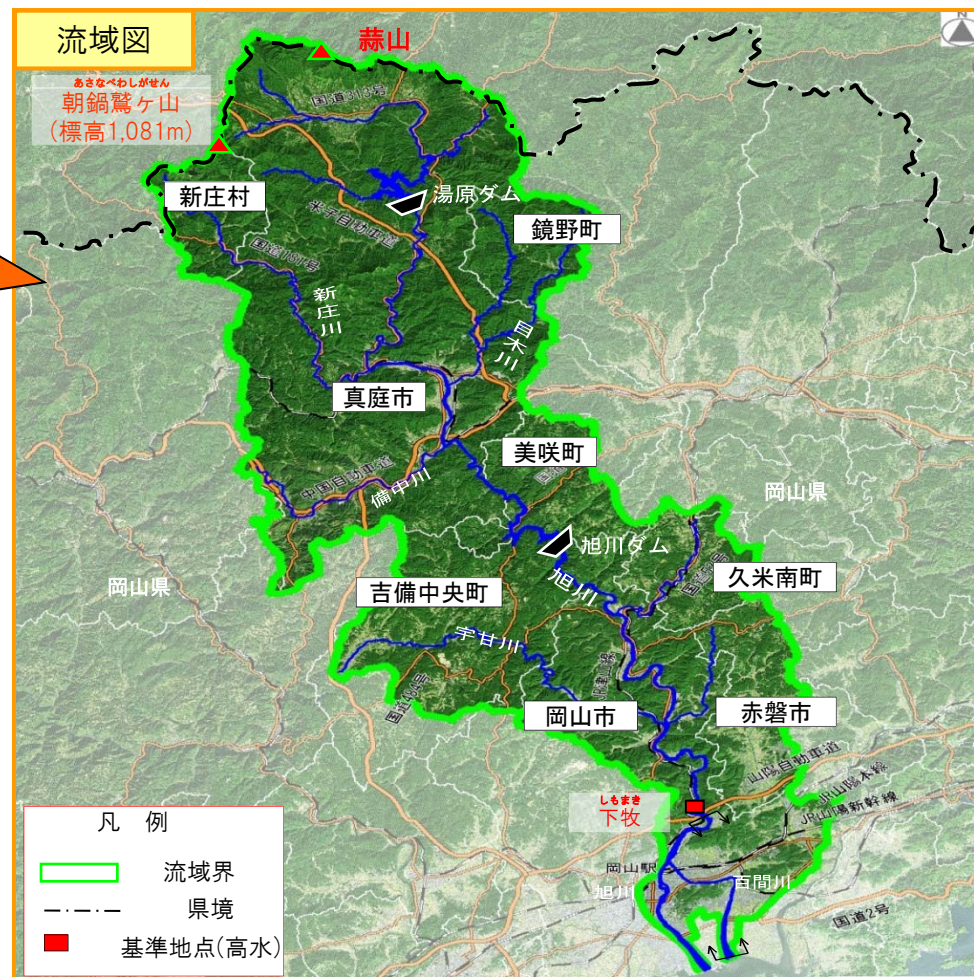
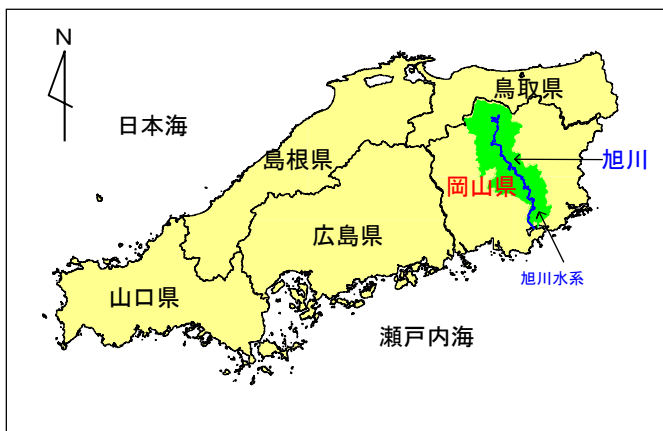
- 以上から、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、**事業継続が妥当**である。
- 今後の事業実施にあたっては、地域と協力体制を確立するとともに、新技術・新工法を活用し、コスト縮減に引き続き取り組み、効率的かつ効果的な事業の執行に努める。

## 2. 再評価の重点化・効率化判定票

項目	判定			
	判断根拠	チェック欄		
<b>事業をめぐる社会情勢等の変化</b>				
事業の効果や必要性、周辺環境に変化がない	事業箇所周辺の人口・世帯数は大きな変化がみられていない。 【古京(下流)箇所・岡山城箇所】 前回 230,480世帯 → 今回 241,310世帯 <u>5%増</u> 【牧石箇所】 前回 27,609世帯 → 今回 28,535世帯 <u>3%増</u>	変化なし ■	変化あり □	
<b>前回評価からの事業費・事業期間の増加</b>				
事業費の増加	前回:全体事業費 6.9億円 → 今回:全体事業費 9.3億円 <u>35%増</u>	増加なし □	10%以内増加 □	10%超え ■
事業期間の増加	8ヶ年(2013年～2021年) → 13ヶ年(2013年～2026年) <u>10%以上延長</u>	□	□	■
<b>前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等</b>				
費用便益分析マニュアルに変更がない	平成31年3月マニュアルに改定あり、B/C算定方法を一部変更した(TCM→CVM)。また、観光アンケートによる便益を追加した。	変化なし □	変化あり ■	
需要量等の変化等(需要量等の減少が10%以内)	事業箇所周辺の世帯数は+3～5%であり、需要量の変化が10%以内に収まっている。	10%以下 ■	10%越え □	
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して事業対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	直近3ヶ年の事業費の平均に対する分析費用 15.6% > 基準値(1.0%) 前回評価時の感度分析下位ケース 20.6 ≥ 基準値(1.0)	満足している ■	満足していない □	
前回評価で費用対効果分析を実施していない		省略していない ■	省略している □	
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	特になし	—		
<b>事業進捗に大きな変化がある事業である。</b>				

# 3. 旭川の概要

- 旭川は、岡山県の中央部に位置し、その源を中国山地の朝鍋鷲ヶ山あさなべわしがせんに発し、瀬戸内海に注ぐ、幹川流路延長142km、流域面積1,810km<sup>2</sup>の一級河川である。
- 旭川下流部には、江戸時代から栄えてきた政令指定都市の岡山市が位置し、地域の社会・経済・文化の基盤を成している。また、岡山市には日本三名園の一つである岡山後楽園があるなど、岡山県の観光拠点として賑わっている。
- 旭川、百間川の河川敷には、数多くのスポーツ施設や公園が整備されており、多くの市民にスポーツや散策に利用されている。



【旭川水系の諸元】  
 流域面積 : 1,810km<sup>2</sup>  
 幹川流路延長 : 142 km  
 山地面積比率 : 約80%  
 流域内人口 : 約33万人

※「旭川水系河川整備計画【大臣管理区間】(令和元年変更)」より



### 3. 旭川の河川環境に関する目標

#### ○河川環境の整備と保全に関する目標（旭川水系河川整備計画（大臣管理区間）抜粋） （平成25年策定、令和元年変更）

##### ○河川の空間利用

多くの人々に利用され、周辺地域にとって欠かせない存在となっている旭川の河川空間利用の状況を踏まえ、幅広い分野における安全・快適な利用の継続に寄与するように努めます。

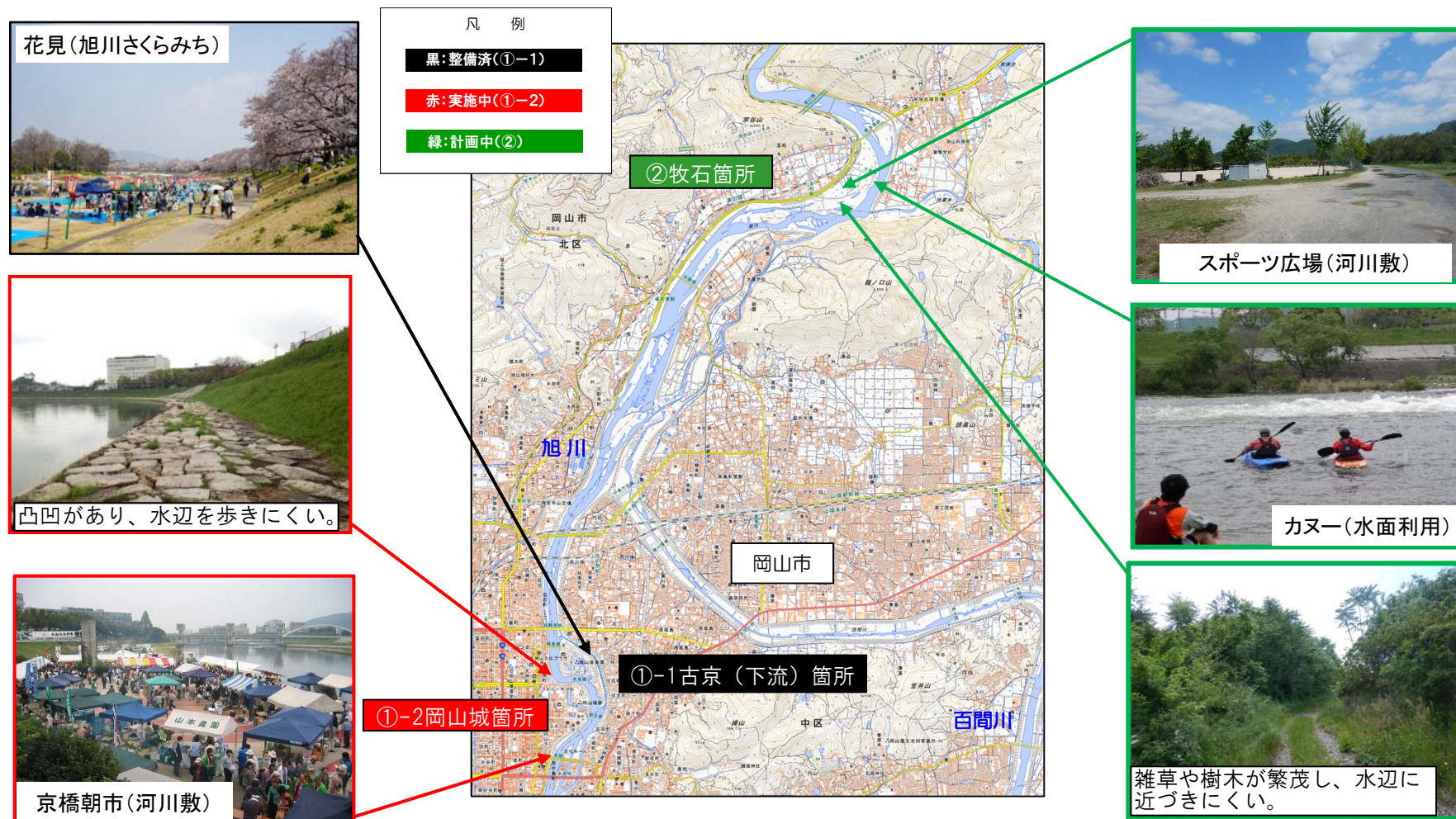
また、河川空間の活用による地域の活性化につながる場の整備を進めます。整備にあたっては、かわまちづくり計画等を踏まえた上で実施します。

##### ○河川景観

旭川中流地区は、れき河原のある水辺景観が形成され、旭川下流地区の感潮区間は、ヨシ原やケレップ水制とその周辺に形成される干潟等の自然景観を呈しています。また、風致地区に指定されている岡山後楽園周辺は、貴重な歴史的空間としての水辺景観が形成されています。このため、整備にあたっては、河川と周辺の自然・文化・歴史空間が一体となった河川景観の保全と形成に努めます。

### 3. 旭川の河川環境に関する現状と課題

- 旭川下流地区は、岡山後樂園周辺の岡山を象徴する水辺景観が形成されており、東西中島地区周辺から岡山後樂園にかけての区間は、「岡山さくらカーニバル(旭川さくらみち)」、「京橋朝市」など市民による河川利用が盛んに行われているが、遊歩道に凸凹があり水辺を歩きにくい箇所や、親水護岸がないことから水辺を安全に利用できない箇所がある。また、京橋朝市などの賑わいの拠点となっている箇所までの管理用通路がないため、周辺一帯の水辺空間を回遊することができない。
- 旭川中流地区の牧石地区では、河川敷にグラウンド等がありスポーツ等の河川利用が盛んな場所となっているが、雑草や雑木が繁茂し水辺に近づく階段や通路もないため、安全に利用することができない箇所もある。



# 4. 旭川総合水系環境整備事業(全体)の事業箇所と内容

評価区分	N o.	河川名	事業名	市	事業内容	事業期間	事業費 (百万円)	評価手法	アンケート 実施年度
再評価	①	旭川	①-1古京(下流)箇所 水辺整備	岡山市	(国)堤防、護岸、階段、坂路 (市)遊歩道	2013年度～ 2017年度	725	CVM注	R1
			①-2岡山城箇所 水辺整備	岡山市	河川管理用通路、親水護岸	2017年度～ 2024年度予定			
再評価	②	旭川	②牧石箇所水辺整備	岡山市	護岸、高水敷整正、河川管理用通路、 階段	(計画中)	207	CVM	R1

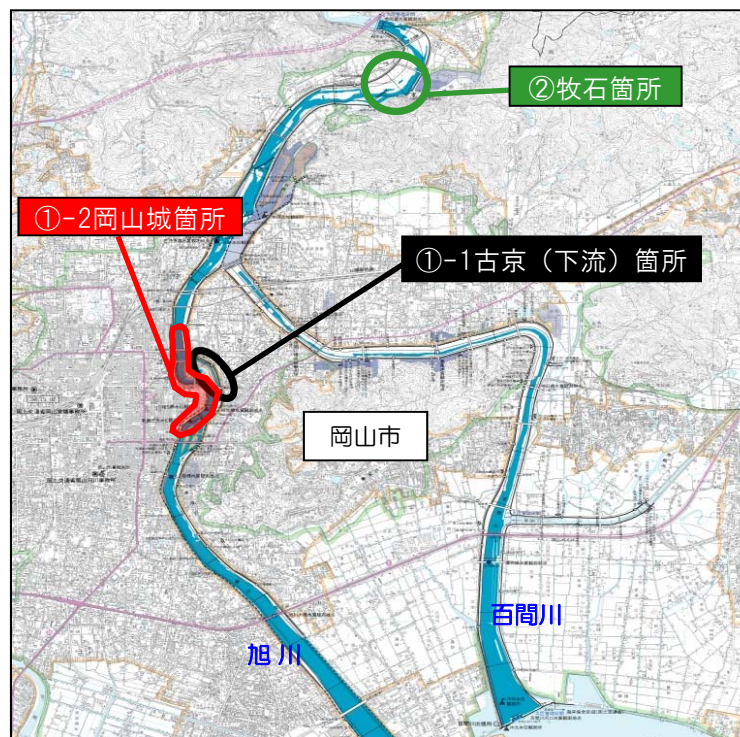
事業費合計 932百万円

黒字:整備済

赤字:事業中

緑字:計画中

注:①-1,①-2は複合的に効果  
を発現することから、一括  
で経済評価を実施



凡 例

黒:整備済(①-1)

赤:実施中(①-2)

緑:計画中(②)

# 5-1. これまでの整備内容【古京(下流)箇所】

## 【水辺整備】古京（下流）箇所水辺整備（整備済）

- 概要：「旭川かわまちづくり計画」を平成25年3月に登録し、地元で「旭川さくらみち」と呼ばれている新鶴見橋東詰から東中島田町小橋までの区間のうち古京（下流）箇所での整備を進め、平成30年3月に完了している。
- 整備目的：水辺に近づきやすくなる坂路の整備のほか、岡山市と連携した遊歩道等の整備を行った。また、護岸整備を行ったことにより桜の植替え・保全が可能となり、「旭川さくらみち」の景観を将来に渡って保全することが可能となった。
- 整備内容：(国)堤防、護岸、階段、坂路 (市)遊歩道



旭川さくらみち記念植樹 (H27.10)

**整備前**

狭い歩行空間

倒木の危険がありながら、  
植替えできない堤防

整備された坂路や階段が少なく、水  
辺に近づきにくい。

**整備後**

約60cm

歩行空間を拡幅

護岸に覆土して景観を保全

坂路が整備され、水辺を利用しやすくなった  
(岡山さくらカーニバル (H30.4))

# 5-1. これまでの整備内容【岡山城箇所】

## 【水辺整備】岡山城箇所水辺整備（実施中）

概要：「旭川かわまちづくり計画」を平成29年3月に変更し、岡山城周辺の水辺を回遊する通路「旭川おしろみち」の整備を追加。平成29年度より整備を進めている。  
 整備目的：河川管理用通路の整備を行い、岡山後楽園、岡山城周辺の水辺の回遊性向上を図る。  
 整備内容：河川管理用通路（国）



岡山城周辺での水面利用状況  
(カヌーイベント)

整備前



水辺を安全に利用するための  
河川管理用通路がない



凸凹があり、安全水辺を歩きにくい。

整備後



(イメージ)

管理用通路整備後の利用イメージ



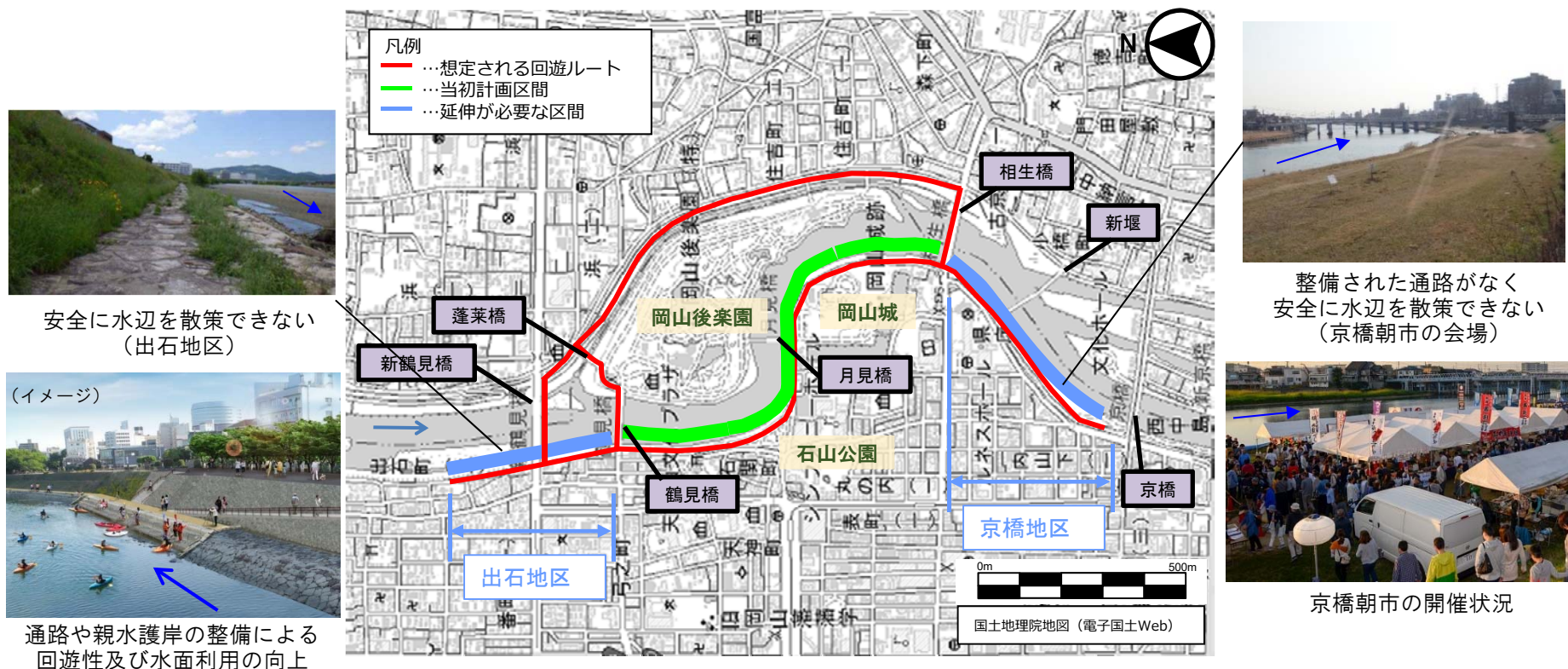
安全に水辺を回遊することができる  
(整備済箇所)

## 5-2. 岡山城箇所周辺の状況とこれからの対応

- 旭川おしろみちの下流側にある京橋地区では、京橋朝市が毎月開催されている。また、朝市会場付近の河川敷でカヌー駅伝が毎年開催されており、岡山市の主要な観光スポットとなっている。
- 旭川おしろみちの上流側の出石地区は、「岡山カルチャーゾーン 歩いて楽しいまちづくり計画」（岡山市）において、魅力スポットをつなぐ散歩径のひとつ「出石町の歴史的街並み」に位置付けられている。
- 岡山城・後樂園間の水面では、カヌー駅伝に加えて、カヌー親子教室、カヌー体験会が開催され、賑わいをみせている。
- ミズベリング岡山旭川や石山公園のリニューアルに関するワークショップ等では、水辺を感じられる空間利用に関する意見や、舟運等の水面利用に関する意見が寄せられており、親水護岸の整備が求められている。

### 【課題】

主要な観光スポットとなっている京橋地区及び出石地区において、さらなる賑わいにより水辺の利用者の増加が想定され、水際の安全面など管理巡視の重要性が増すことから、河川管理用通路を延伸する必要がある。



## 5-2. 岡山城箇所周辺の状況とこれからの対応

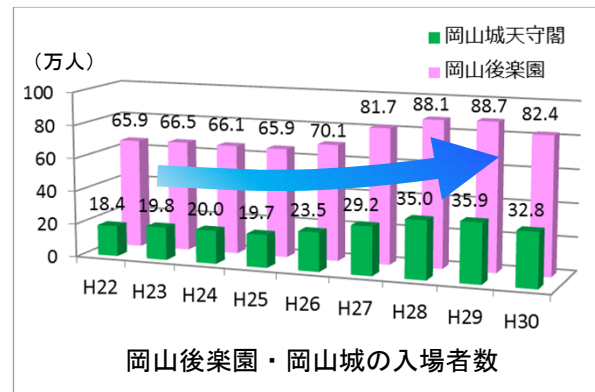
- 平成31年3月に「旭川かわまちづくり計画」を変更し、河川管理用通路を新鶴見橋から京橋朝市会場まで延伸し、親水護岸を整備を追加した。
- 未整備区間の完成により、既整備の旭川さくらみちや岡山城周辺の周辺観光施設と出石地区や京橋地区の賑わいの拠点との回遊性向上が期待されている。



旭川かわまちづくり計画検討推進会議

所属	役職
岡山商工会議所	副会頭
岡山商工会議所景観環境委員会	委員長
岡山大学地域総合研究センター	副センター長
出石をどねんかする会	会長
まちづくり推進機構岡山	代表理事
旭川を日本一美しい川に育てる会	専務理事
公益社団法人岡山青年会議所	理事長
国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所	所長
岡山県土木部都市局都市計画課	副課長
岡山市政策局	局長
岡山市都市整備局	局長
岡山市都市整備局	都市・交通・公園担当局長
岡山市下水道河川局	局長
三軒学区連合町内会	会長代行
宇野学区連合町内会	会長
内山下地区連合町内会	会長
弘西地区連合町内会	会長

計画事業推進会議 構成員



「旭川かわまちづくり計画」の策定・変更状況

年月	内容
H23.10	「旭川かわまちづくり計画」を検討する「旭川かわまちづくり計画検討会議」が発足
H25.3	「旭川かわまちづくり計画」が認定される
H26.6	「旭川かわまちづくり」の変更を検討する「旭川かわまちづくり計画事業推進会議」を設立
H27.6	「旭川かわまちづくり」の進捗状況や水辺の回遊性向上について検討する「旭川かわまちづくり計画検討推進会議」を設立
H28.3	「旭川かわまちづくり計画」(第1回変更)により、古京地区における桜の維持・桜並木の保全を含む「旭川さくらみち」を新鶴見橋まで延伸
H29.3	「旭川かわまちづくり計画」(第2回変更)により、右岸の出石地区から内山下地区における歩行空間整備「旭川おしろみち」を追加
H30.3	「旭川さくらみち」が完成
H31.3	「旭川かわまちづくり計画」(第3回変更)により、右岸の「旭川おしろみち」を京橋地区・出石地区へ延伸、親水護岸を追加

## 5-3. 事業費の増加及び事業期間の延長

【前回評価時（平成27年度 再評価）】

- ・総事業費：6.9億円
- ・事業期間：2013年度（平成25年度）～2021年度（令和3年度）



上記により総事業費の改定・事業期間の延長が必要

【今回評価（令和元年度 再評価）】

- ・総事業費：9.3億円
- ・事業期間：2013年度（平成25年度）～2026年度（令和8年度）

### ■事業費の改訂が必要

以下の理由により工事費・測量設計費が増加している。

岡山城箇所は、「旭川かわまちづくり計画」が平成31年3月に変更登録され、岡山城周辺の水辺の回遊性向上及び水辺利用の安全性を向上させるため、**河川管理用通路の延伸と親水護岸が4基追加**となった。

### ■事業期間の延長

岡山城箇所の河川管理用通路の延伸（2年）・親水護岸の設置（2年）及び翌年に事業評価（1年）を実施することにより期間が5年延期となった。



# 5-3. 事業費の増加及び事業期間の延長

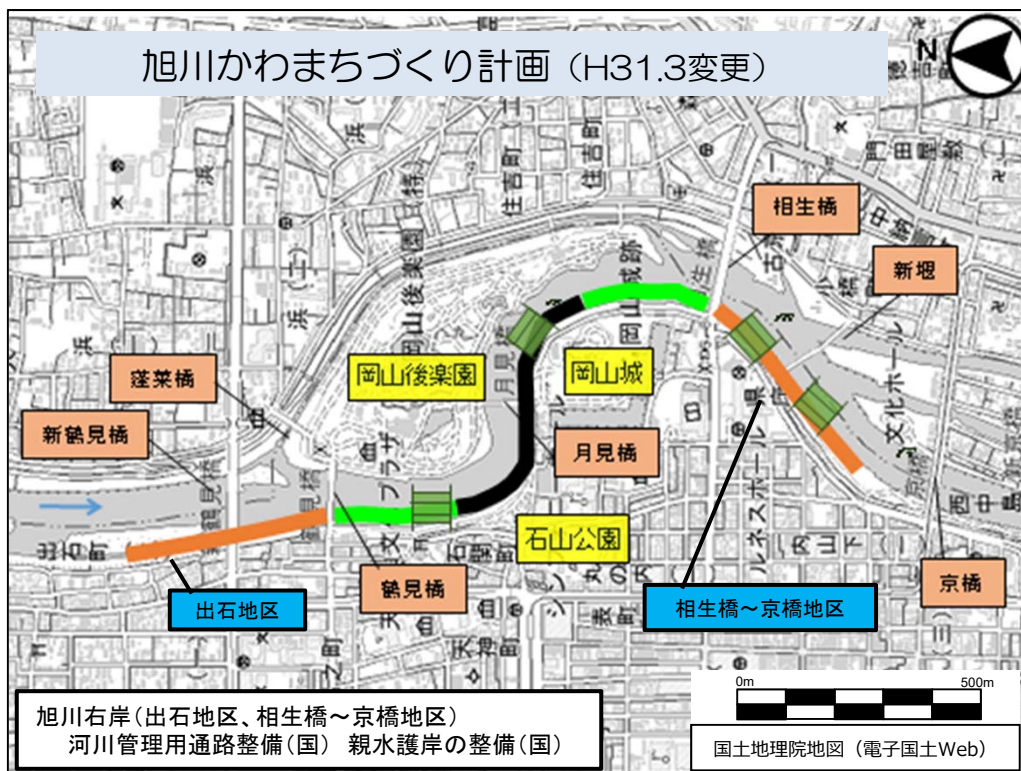
## 【河川管理用通路の延伸】

- ・ 岡山城周辺の回遊性を向上させるため、河川管理用通路（旭川おしろみち）を延伸が必要となった。

## 【親水護岸の設置】

- ・ 岡山城周辺の水辺の利用の安全性向上を図るため、親水護岸を整備が必要となった。

（「旭川かわまちづくり計画」を変更）



### 凡例

- ...H31.3計画に追加した箇所
- ...堤防護岸整備(河川改修事業)で整備する箇所
- ...現在の計画箇所
- ...親水護岸整備予定箇所
- ...主要な観光拠点
- ...主要な橋

## 【河川管理用通路の延伸】

1.0億円の増額



平成30年4月一部供用

水辺に歩きやすい安全な通路を整備することで、旭川上下流・岡山城周辺の回遊性が向上する。

## 【親水護岸の設置】

1.4億円の増額



親水護岸の整備により、安全に水辺を利用でき、水面利用が促進される。

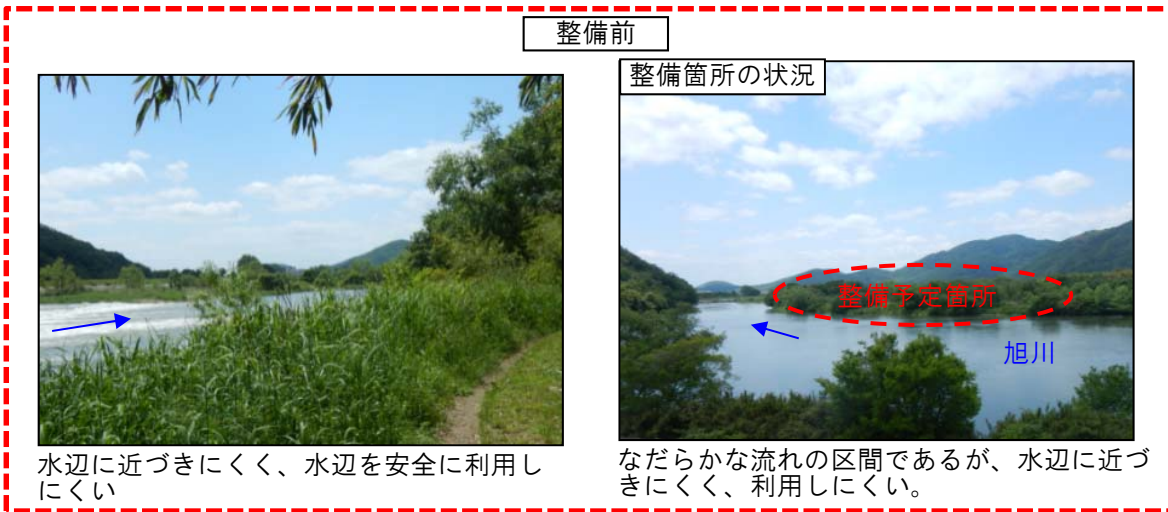
# 6. 牧石箇所水辺整備の整備内容、進捗の見込み

## ② 牧石箇所水辺整備 (計画中)

整備目的 : 水辺利用者が安全に水辺空間を利用し、かつ河川巡視など河川管理機能の向上のため、護岸、高水敷整正、河川管理用通路・階段の整備を行う。

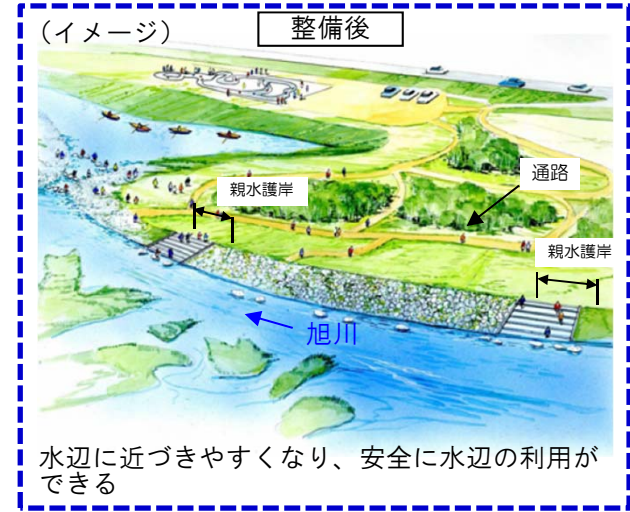
整備内容 : 護岸、高水敷整正、河川管理用通路、階段

事業の進捗見込み : 関係機関や住民等の意見を取り入れながら、協力体制を確立し事業を実施していく予定であり、今後事業進捗する上で支障はない。



水辺に近づきにくく、水辺を安全に利用しにくい

なだらかな流れの区間であるが、水辺に近づきにくく、利用しにくい。



水辺に近づきやすくなり、安全に水辺の利用ができる

# 7. 費用対効果分析(総括表)

## ●費用便益比総括表

【全体事業】事業期間（2013年度～2026年度予定）

【水辺整備】①-1 古京（下流）箇所水辺整備

①-2 岡山城箇所水辺整備

② 牧石箇所水辺整備

【残事業】事業期間（2020年度～2026年度予定）

①-2 岡山城箇所水辺整備

② 牧石箇所水辺整備

### 旭川総合水系環境整備事業

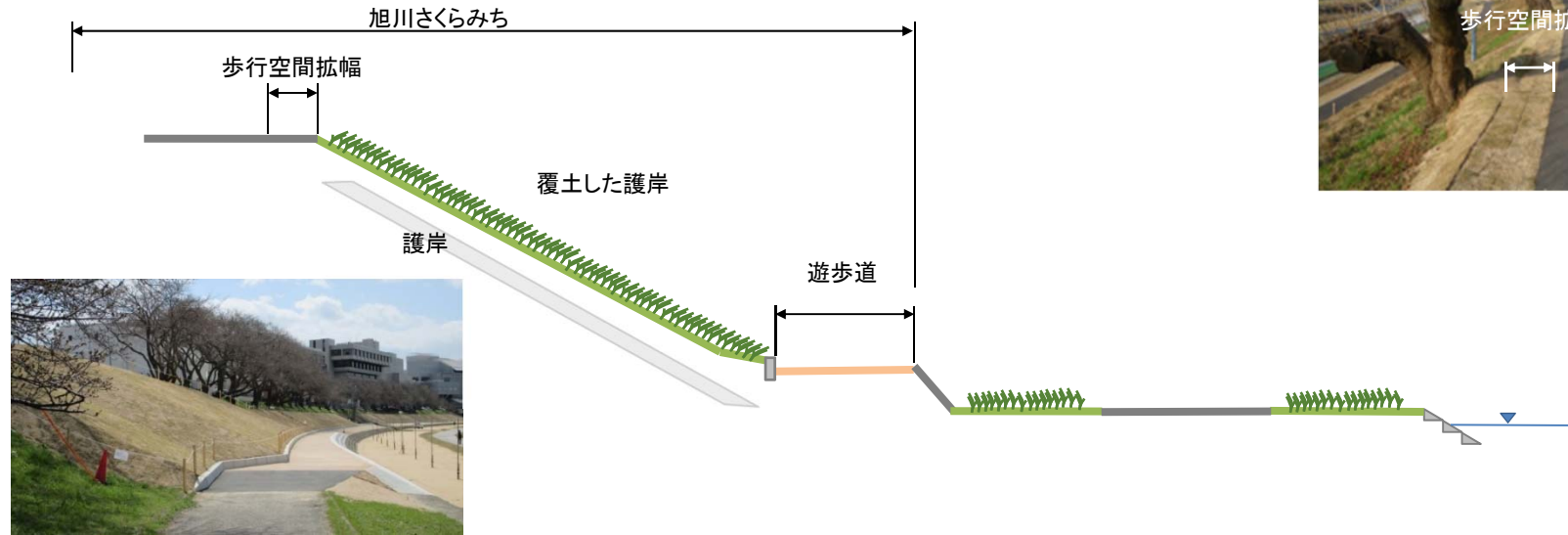
金額単位：百万円

項目	再評価			
	事業全体	残事業		
		水辺整備	水辺整備	
便益 (B)	27,475	27,475	9,245	9,245
便益	27,456	27,456	9,229	9,229
残存価値	20	20	16	16
費用 (C)	953	953	386	386
事業費	865	865	362	362
維持管理費	88	88	24	24
費用便益比 (B/C)	28.8	28.8	24.0	24.0

- ・社会的割引率（4%）及び治水経済デフレーターにより、現在価値化した値
- ・消費税相当分の除外が必要な項目は、税相当分を除外
- ・B/Cは少数第二位、それ以外は少数第一位で四捨五入している。
- ・合計欄は、表示桁数の関係で単純計算と一致しない場合がある。

# 【参考1】古京(下流)箇所、岡山城箇所の横断図

## 古京(下流)箇所(旭川さくらみち)



## 岡山城箇所(旭川おしろみち)



## 【参考2】 前回評価時との比較

### ◆ 前回評価時との比較表

事項	時 点		備考
	前回評価 (平成27年度再評価)	今回評価 (令和元年度再評価)	
事業諸元 及び 事業期間	<b>【水辺整備】</b> ①-1古京（下流）箇所 ：実施中 2013年度～ 堤防、護岸、階段、坂路 （市）遊歩道 ①-2岡山城箇所 ：計画中 河川管理用通路、親水護岸 ②牧石箇所：計画中 護岸、高水敷整正、 河川管理用通路、階段	<b>【水辺整備】</b> ①-1古京（下流）箇所 ：2013年度～2017年度 堤防、護岸、階段、坂路 （市）遊歩道 ①-2岡山城箇所 ：実施中 2017年度～2024年度 河川管理用通路、親水護岸 ②牧石箇所：計画中 護岸、高水敷整正、 河川管理用通路、階段	事業費を追加、事業期間を延伸
全体事業費	約6.9億円 (消費税含む)	約9.3億円 (消費税含む)	
総便益（B）	約168.9億円	約274.7億円	牧石箇所は、TCMからCVMに 手法を変更 古京（下流）・岡山城箇所は、 岡山城・後樂園に來訪する観光 客CVMによる便益を追加
総費用（C）	約7.4億円	約9.5億円	
費用便益比 (B/C)	22.9	28.8	

## 【参考3】 感度分析

- 参考として残事業費、残工期、便益を個別に±10%変動させて、費用便益比（B/C）を算定し、感度分析を行った。

＜B/C算定ケース（基本1ケース、感度分析6ケース）＞

	基本	残事業費		残工期		便益	
		10%	-10%	10%	-10%	10%	-10%
全体事業 費用便益比(B/C)	28.8	27.8	30.0	28.7	29.0	31.7	25.9
残事業 費用便益比(B/C)	24.0	21.9	26.5	23.5	24.5	26.4	21.6

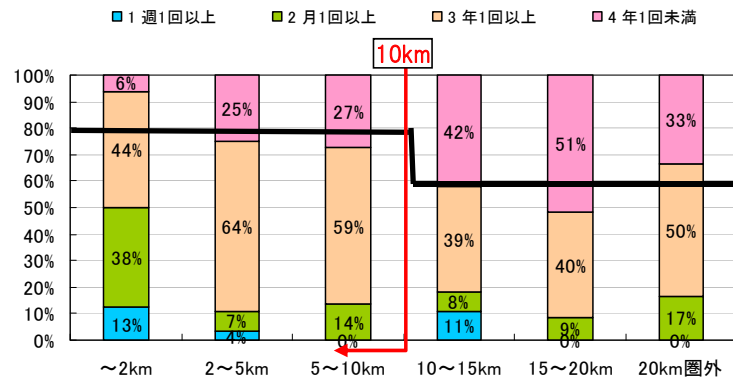
# 【参考4】費用対効果分析(本調査結果:①-1古京(下流)箇所, ①-2岡山城箇所)

## ● CVM (住民アンケートによる支払意思額の調査)

【参考】事前調査(プレテスト)結果について(平成24年5月実施)

古京(下流)箇所・岡山城箇所では、河川利用圏域について10km付近で回答の変化が見られ、この範囲を便益受益範囲として決定した。

問：あなたは、旭川を訪れたことがありますか。

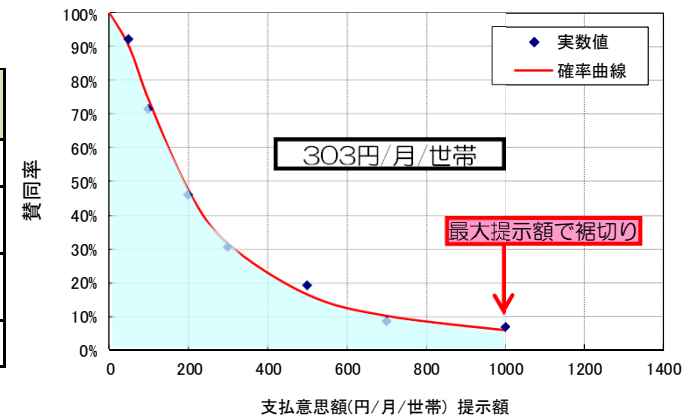


○対象市町村(事業地から10km圏内)  
岡山市(北区、中区、東区、南区)



古京(下流)箇所・岡山城箇所(全体事業)	
調査方法	郵送配布(住民基本台帳)
必要回答数	384
配布数	2200
回収数	669
回収率	30.4%
有効回答数	459
有効回答率	68.6%

	前回評価 (H27)	今回評価 (R1)
評価手法	CVM	CVM
支払意思額	231 円/月/世帯数	303 円/月/世帯数
受益世帯数	253,512世帯 (H22国勢調査)	241,310世帯 (H27国勢調査)
年便益	703百万円	877百万円



### (アンケート結果)

①-1【水辺整備】古京(下流)箇所水辺整備、①-2【水辺整備】岡山城箇所水辺整備  
 支払意思額(WTP)=303/月/世帯、受益世帯数 241,310世帯  
 年便益：877百万円/年(=303円/月/世帯×12ヶ月×241,310世帯)

# 【参考4】費用対効果分析(本調査結果:①-1古京(下流)箇所, ①-2岡山城箇所)

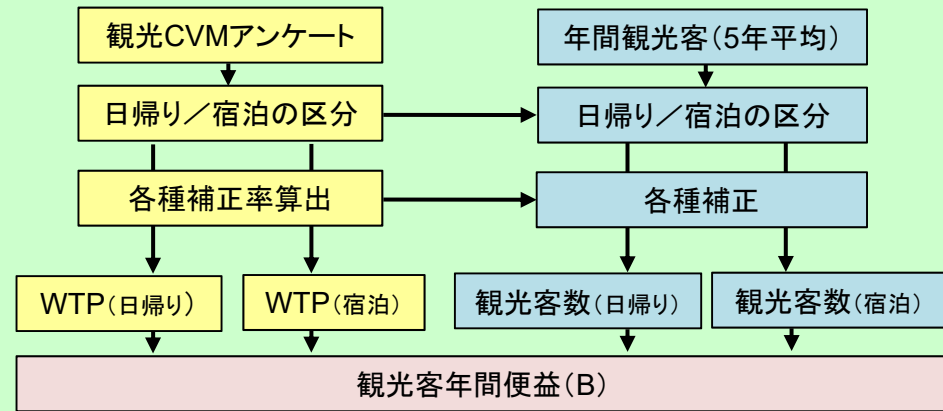
## ● CVM (観光客アンケートによる支払意思額の調査)

### 観光客アンケートの実施

調査場所:岡山城・後楽園  
調査実施日:8月10日・23~24日・31日  
調査方法:対面式アンケート  
回収目標:300票(日帰り)、300票(宿泊)

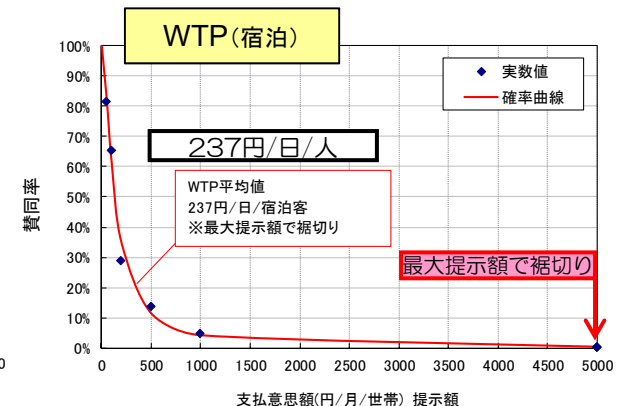
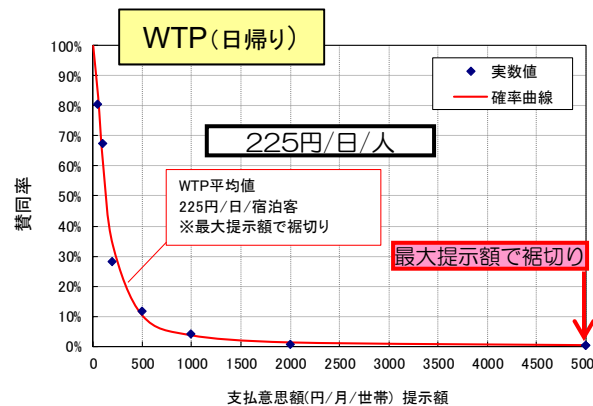
### 観光入込客数補正

日帰り/宿泊の区分	調査結果(日帰り/宿泊の割合)で配分
旅行目的の分離	調査結果(観光目的の割合)で除外
訪日外国人の分離	統計値から外国人率を求め除外
子供の分離	調査結果(子供の割合)で除外
住民の分離	調査結果(住民の割合)で除外



※住民は対象外:対象市町村(事業地から10km圏内)を除く

古京(下流)箇所・岡山城箇所(全体事業)		
	日帰り観光客	宿泊観光客
調査方法	面接アンケート	面接アンケート
必要回答数	300	300
回収数	397	403
無効票	58	5
有効回答数	339	398
有効回答率	85.4%	98.8%



### (アンケート結果)

①-1【水辺整備】古京(下流)箇所水辺整備、①-2【水辺整備】岡山城箇所水辺整備

支払意思額(WTP;日帰り)=225円/日/人、支払意思額(WTP;宿泊)=237円/日/人

年便益:337百万円/年( = WTP日帰り×観光入込客数(日帰り)+WTP宿泊×観光入込客数(宿泊) )

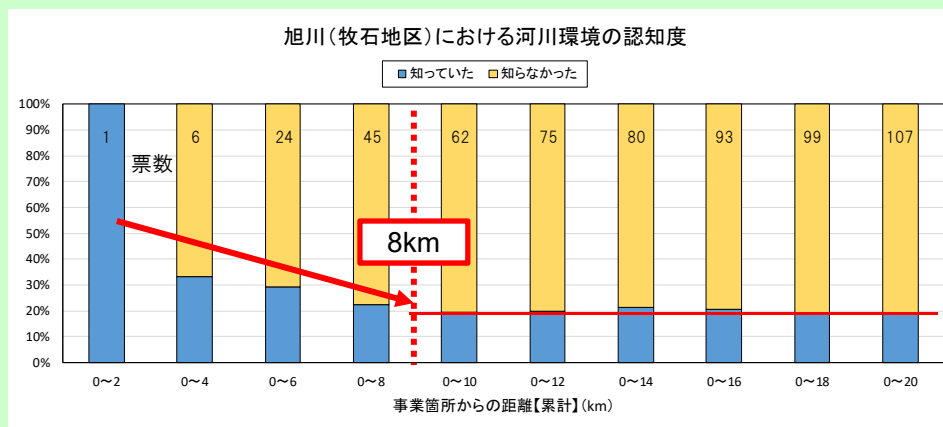
= 225円/日(日帰り)×506,883(日帰り)+237円/日(宿泊)×941,355(宿泊)



# 【参考4】費用対効果分析(本調査結果: ②牧石箇所)

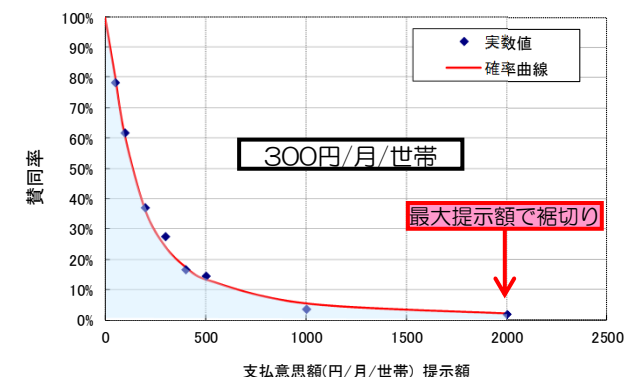
## ● CVM (住民アンケートによる支払意思額の調査)

【参考】事前調査(プレテスト)結果について(平成30年6月実施)  
牧石箇所では、河川環境の認知度について8km付近で回答の変化が小さくなる、この範囲を便益受益範囲として決定した。



牧石箇所(全体事業)	
調査方法	郵送配布(住民基本台帳)
必要回答数	383
配布数	2200
回収数	723
回収率	32.9%
有効回答数	425
有効回答率	58.8%

今回評価(R1)	
評価手法	CVM
支払意思額	300円/月/世帯数
受益世帯数	28,535世帯(H27国勢調査)
年便益	103百万円



### (アンケート結果)

#### ②【水辺整備】牧石箇所水辺整備

支払意思額(WTP)=300円/月/世帯、受益世帯数 28,535世帯

年便益: 103百万円/年 (=300円/月/世帯×12ヶ月×28,535世帯)

## 旭川総合水系環境整備事業

〔岡山県への意見照会と回答〕

国土交通省  
中国地方整備局長  
国土整備計画第54号  
国土整備港計第16号  
令和元年11月5日

岡山県知事 様

国土交通省  
中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針  
(原案)の作成に係る意見照会について (ご依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針（原案）について審議しております。

このたび、令和元年11月18日に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針（原案）の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

(別紙)

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
旭川総合水系環境整備事業	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る対応方針（原案）を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限：令和元年11月14日（木）までをお願いします。

※様式自由

■送付先・お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課

建設専門官 高橋（内線：3153）

施策分析評価係長 寺岡（内線：3186）

TEL：082-221-9231（代表）

FAX：082-511-6359

〒730-8530 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎2号館



技 第 300 号

令和元年11月15日

中国地方整備局長 殿

岡山県知事 伊原木 隆太



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る  
意見照会について（回答）

令和元年11月5日付、国中整企画第54号及び国中整港計第16号で照会のあった、  
次の事業についての意見は別紙のとおりです。

記

- 1 旭川総合水系環境整備事業



(別紙)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）に対する意見

	事業課名	河川課
事業名	旭川総合水系環境整備事業	
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	妥当である ・ 妥当でない	
<p>(意見)</p> <p>本事業のうち古京（下流）箇所および岡山城箇所については、桜並木の存続や坂路の整備のほか、親水護岸の整備、岡山市と連携した遊歩道等の整備により、水辺周辺の利用者の安全性や回遊性の向上が期待され、事業の必要性が認められる。牧石箇所についても、護岸の整備や高水敷整正を行うことにより、河川管理機能の向上や水辺空間の安全性の向上が期待され、事業の必要性が認められる。</p> <p>今後も、一層のコスト縮減を図るとともに、専門家や地域住民の意見を十分に取り入れながら、早期完成に努めていただきたい。</p>		